

ま ぐ ろ は え な わ

ぎ よ ぎ よ う

[がいこくじん ぎのうじっしゅうせい よう きょうざい]

だいにほんすいさんかい

はじめに

この きょうざいは あなたがた がいこくの かたがたが
にほんの 「まぐろ はえなわ ぎょぎょう」の ぎのうじっし
ゆうを うけるときに やくだつように さくせい しました。

なれない にほんごの きょうざいですが みなさんが
わかりやすいように 「まぐろ はえなわ ぎょぎょう」 につ
いて やさしく せつめいして あります。

もし わからない ところが あれば ぎのうじっしゆう
しどういんや にほんじんの のりくみに しつもんして
きそてきな ちしきを いちにちも はやく みに つけて
ください

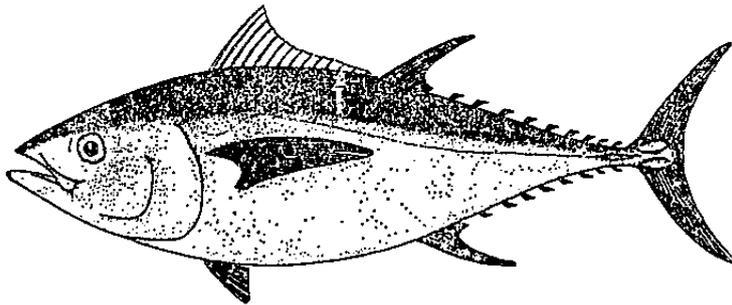
もくじ

1. はえなわで とれる まぐろの しゅるい
2. まぐろを とる ところ (ぎょじょう)
3. まぐろを とる ふね
4. まぐろを とる どうぐ (ぎょぐ)
5. まぐろの とりかた
6. とった まぐろの しより
7. まぐろの ほぞうの しかた
8. まぐろの たべかた

1. はえなわ ぎょぎょうで とれる まぐろの しゅるい

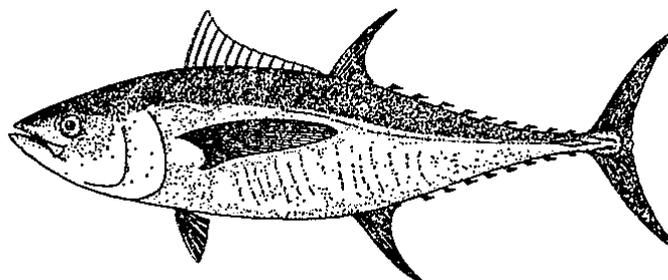
まぐろ はえなわ ぎょぎょうでは、めばち きはだ びんなが（びんちょう、とんぼ） くらまぐろ みなみまぐろ まかじき さめが とれます。

①めばち



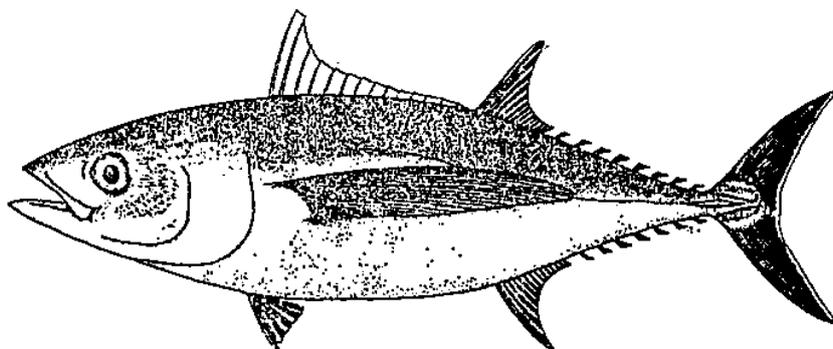
- おおきいものは ながさが 2メートル（2m）、おもさが 200キロぐらむ（200kg）になります。
- おおきい めが とくちょうです。
- にほんでは とうほくちほうより みなみの たいへいようで とれます。

②きはだ（きめじ）



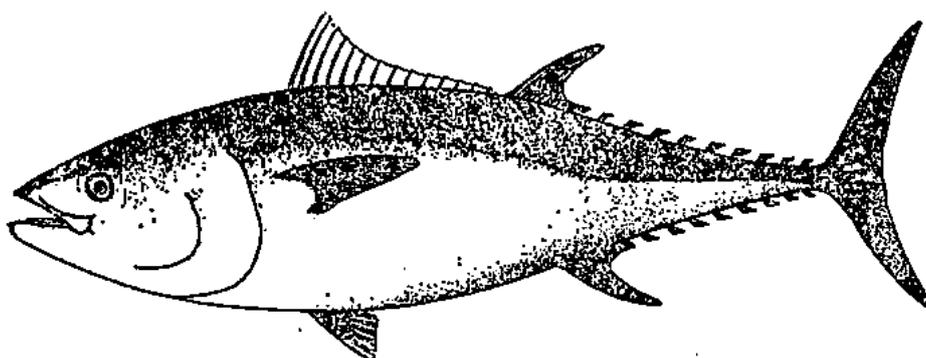
- めばちより ほそながい かたちを しています。
- おおきいものは ながさが 1.8メートル（1.8m）、おもさが 100キロぐらむ（100kg）になります。
- からだの よこと せなかの きいろい ひれが とくちょうです。

③びんなが (びんちょう、とんぼ)



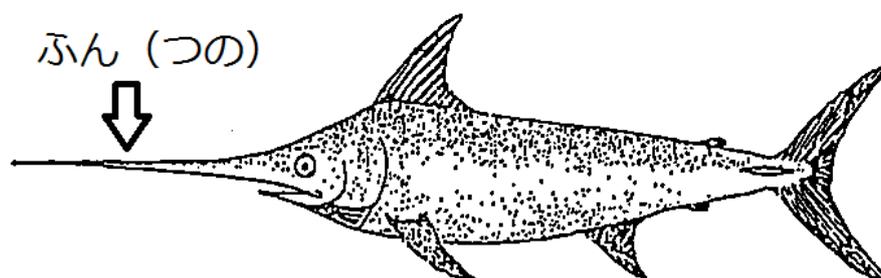
- ながさは 40センチメートル (40 cm) から 1メートル (1 m) です。
- おもさは 2キロกรัม (2 kg) から 18キロกรัม (18 kg) です。
- むねの ながい ひれが とくちょうです。
- かんづめの げんりょうにも なります。

④くろまぐろ



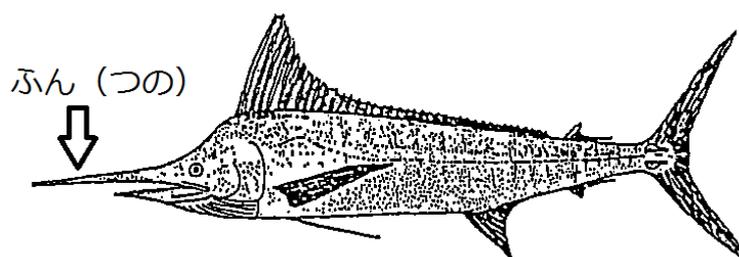
- まぐろの なかでは もっとも おおきくなり、からだの ながさ 3メートル (3 m)、おもさが 400キロกรัม (400 kg) にも なります。
- みじかい むなびれが とくちょうです。
- おいしく、まぐろの なかで もっとも ねだんが たかいです。

⑤めかじき



- おおきいものは ながさ 4.5メートル (4.5 m)、おもさが 500キログラム (500 kg) になります。
- ふん (つの) が ながく たいらで、からだ が まるいのが とくちょうです。

⑥まかじき



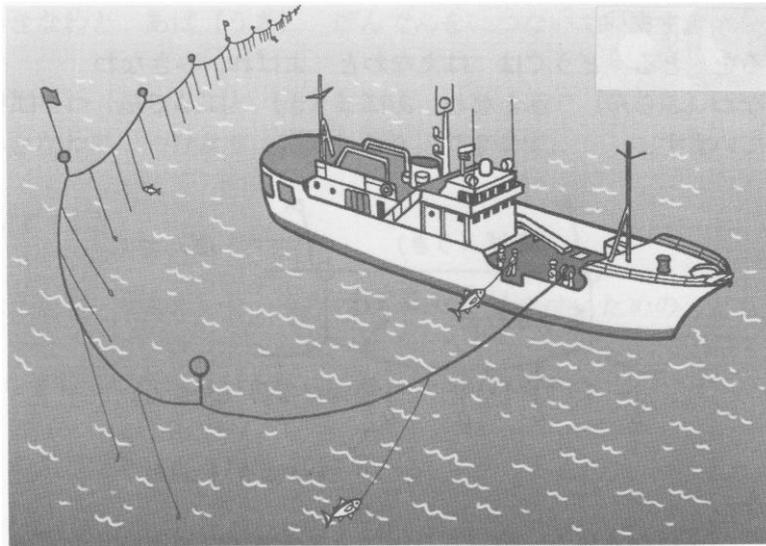
- おおきいものは ながさ 2.5メートル (2.5 m)、おもさが 120キログラム (120 kg) になります。
- からだの よこには あおいろの よこじまが あり、 まるい ぼうの ような つのが あるのが とくちょうです。

⑦さめ

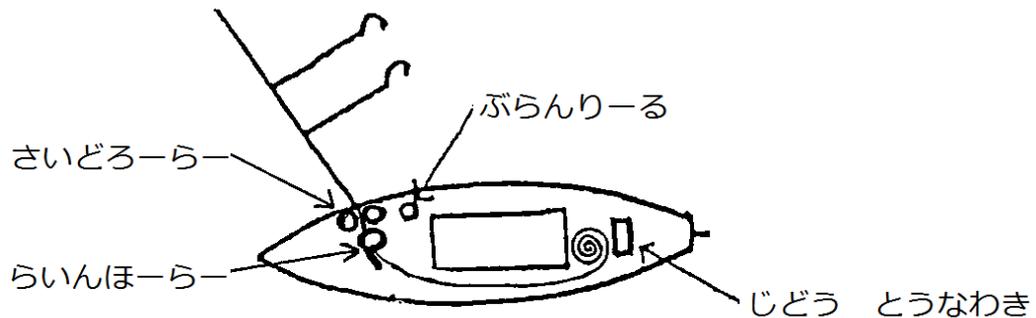
- しゅるいが おおく おおきさも いろいろです。
- おおきな うろこが ないのが とくちょうです。

3. まぐろをとる ふね

①にほんの ちかくで まぐろをとる ふねは ちゅうがたや こがたの ぎよせんです。



②まぐろぎよせんには らんほーらー、ぶらんりーる、じどうとうなわき、 などの きかい、 さんぼうろーらー (さいどろーらー) などの せつ びが あります。

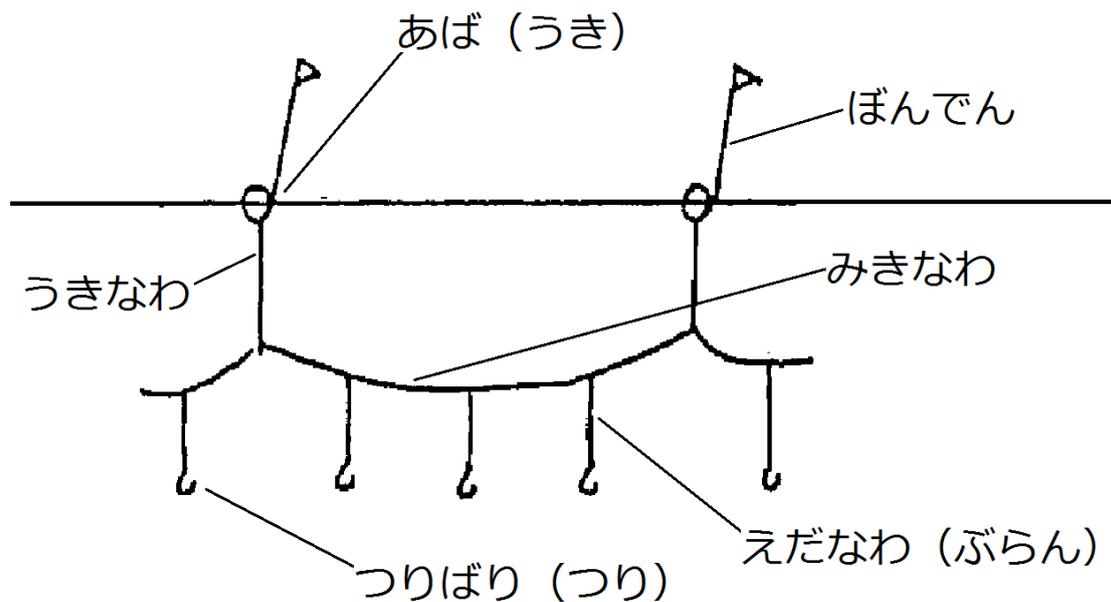


- らいんほーらー
はえなわを うみから ひきあげる きかいです。
- さんぼうろーらー (さいどろーらー)
らいんほーらーが なわを ひきあげ やすくする どうぐです。
- ぶらんりーる
えだなわ (ぶらん) を まきとる きかいです。
- じどうとうなわき
はえなわを うみへ 入れるときに つかう きかいです。

4. まぐろをとる どうぐ (ぎょぐ)

①はえなわ

- ・まぐろをとる どうぐは はえなわと よばれ、 みきなわ、 えだなわ (ぶらん)、 うきなわ、 あば (うき)、 ぼんでん、 つりばりで できています。



②みきなわ

- ・みきなわは ほそくて じょうぶで ながい なわです。
- ・ふかいところの さかなを つるときには えだなわの かんかくを ひろげます。

③えだなわ (ぶらん)

- ・みきなわから つりさげた、 ながさ 20めーとる (20m) から 30めーとる (30m) の なわです。
もっと ながくする ばあいも あります。
- ・えだなわ (ぶらん) の さきには つりばりが ついています。

④うけなわ (たてなわ)

- ・みきなわを ふかさを きめるための なわです。
- ・みきなわ、 あば (うき)、 ぼんでんを つないでいます。
- ・えだなわと (ぶらん) と うきなわは くりっぷで かんたんに みきなわに つけたり はずしたり できます。

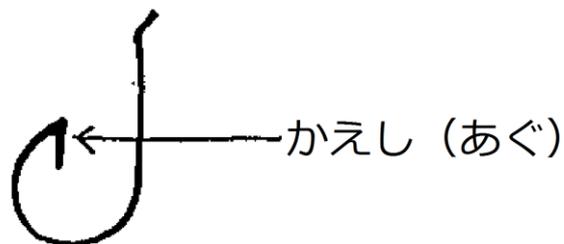
⑤あば (うき)

- ・はえなわ ぜんたいを うみの なかで うかす ための どうぐです。
- ・ぶらすちっくの おおきな たまを つかいます。

⑥らんぷ (だるまとう)、 らじおぶい

- ・よる はえなわを さがすとき、 めじるしに するものです。

⑦つりばり



- ・えだなわ (ぶらん) の さきに つけた、 まぐろを つる はりです。
- ・まぐろがかかった ときに はずれないように かえし (あぐ) が あります。

5. まぐろの とりかた

①とうなわさぎょう (はえなわを うみに いれる さぎょう)

- ・ふねの うしろ (とも) から とうなわします。
- ・つりばりに えさを つけます。 えさには むろあじ、 さんま、 さば、 いわし、 いかなどを つかいます。
- ・さいしょの あば (うき)、 ぼんでんを うみに いれたあと、 みきなわを いれながら えだなわ (ぶらん) と うきなわを つけていきます。
- ・とうなわさぎょうでは じどうとうなわきを つかいます。

②なわまち

- ・はえなわを うみに いれたあと 3じかん から 5じかん まってから なわを あげます。

③あげなわさぎょう (はえなわを うみから ひきあげる さぎょう)

- ・ふねの まえ (おもて) の うげん (みぎげん) から あげなわします。
- ・あげなわさぎょうには、 さんぼうろーらー (さいどろーらー)、 らいんほーらー、ぶらんりーるを つかいます。

6. とった まぐろの しより

①ひきあげた まぐろの しより

- ・はえなわに かかった まぐろは さぎょうでつき (どうのま) に ひきあげます。

- ・いきている まぐろは、ころします。
- ・かじきは はじめに つのを きりおとします。
- ・そのあと ちを ぬき、 えらや ないぞうを きりとります。

②ちの ぬきかた

- ・まぐろの なかに ちが のこっていると せんどが おちるので ちを ぬきます。
- ・むねの ひれの うちがわを ほうちょうで さします。
- ・このとき からだの ほかの ぶぶんに きずが できないように ちゅういします。

③えらや ないぞうの とりかた

- ・まぐろは ちを ぬいたあと、 えらと ないぞうを きりとり よく みずで あらいます。
- ・びんちょう (とんぼ) は ふねの うえで えらや ないぞうを きりとりません。
- ・かじきは はらをおおきく きって ないぞうを とりだし、 よく みずで あらいます。

7. まぐろの ほぞうの しかた

- ・まぐろを ほぞうする ほうほうは、「れいぞうほう」と 「れいとうほう」が あります。
- ・にほんの きんかいでは 「れいぞうほう」で ほぞんします。

- ・「れいぞうほう」には くだいた こおりを つかうものと、
れいきゃくすい (つめたい みず) に つけるものごとが あります。

8. まぐろの たべかた

- ・にほんじんは さしみや すしなど、 おもに なまで たべます。
- ・まぐろの しゅるいに よっては、 かんづめや かこうひんの
げんりょうにも なります。